

庭夏終陽光照緑海思

<p>ここで私は、おじさんと一緒に過ごす時間を大切にすることができた。</p><p></p><p>おじさんの庭</p><p>おじさんの庭は、私が小さな頃から知っている場所でした。いつもそこには花々が咲き乱れていて、その香りが鼻孔をくすぐります。お父さんが幼いころ、おじさんは彼にこの庭を手伝っており、それ以来、この地は家族の一員のように感じられています。この時期になると、夏の果物が熟れており、新鮮な水分や栄養価の高い食材として利用されることも多いでしょう。</p><p></p><p>夏休み</p><p>毎年夏休みになり、私はおじさん宅に行きます。その理由はいくつかあります。一つ目は、彼との交流です。他方では新しい遊び場としてのお父さんの古い車両を見つける楽しみがあります。また、彼と共に昔話をする事で、歴史的な事件や文化的風俗について学ぶことができるのも魅力です。</p><p></p><p>お父さんとお母さんの関係</p><p>私にとって、おじさんは実の祖父でありながら同時に友人でもありました。我々家族の中での特別な存在でした。しかし、私にとって彼とは何か特別なのかという問いかけがあった。これらの疑問を解決するためにおすすめされたのは「おじさん」という言葉を使うことである。それによって、私たちはその愛情や尊敬感を持った関係を持てるようになった。</p><p></p><p>小さな子供時代</p><p>私の小さな子供時代をおばあちゃんのお家で過ごしました。
何度か訪れる機会があるときには、おばあちゃんがおもしろい遊びを
したり、新しい事物を見せてもらうことができます。しかし、最後には
またも「お帰り」になるのは、何よりも孤独感に対抗する勇気付け
られただけではないでしょうか？ しかし、小さい頃から成長していく
中で自分自身に対して自信を持つために必要なものの一部であったと
思います。 </p><p></p><p>そして天堂？ </p><p>
>私たちが本当に需要していることは「天堂」のある場所です。お互
いに支持し合う仲間のような存在となりたいと思います。我々人間に
とって、「天堂」なるものがあることを確信しています。それこそ、
お互いの心の中にある「天堂」を発見し、それに向かって歩む道標と
なるはずです。そんな意味において、「たしはおじさんに天堂」とい
う言葉には深い意味がありますね。そしてそれは我々全員にとって重
要なお手伝いになるものであると考えています。 </p><p>記憶への対
話</p><p>現在私は成人になりましたが、その記憶について常に反省
しております。お兄様兄弟姉妹同士での友好的な生活体験をお持ちで
すか？ それともどんな些細ないきょうぞくの出来事でも、あなたたち
の思い出を作るために尽力してきたことについて語り合えませんか？
そうやって一生懸命生き続けることで、私たちは今後の日常生活にも
影響が出せるのだろうという期待を持っております。 </p><p><a href =
="/pdf/778986-庭夏終陽光照緑海思.pdf" rel="alternate" downl
oad="778986-庭夏終陽光照緑海思.pdf" target="_blank">下載本
文pdf文件</p>

